

インボイス制度について

森 建 人



〔質問〕インボイス制度の本市経済への影響をどのように捉えているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕本年10月1日からインボイス制度が導入されるが、従来、消費税免税事業者であった事業者は、適格請求書、いわゆるインボイスを発行することができず、取引が減少することになるため、課税事業者になることを視野に入れなくてはならなくなる。しかし、課税事業者になることにより、消費税を納税しなければならなくなり、収益が減少することにもなる。仕入れ事業者にとっ

ても、経理業務の煩雑化やシステム改修などにより、コスト面の負担増加の可能性がある。

また、本年10月1日からインボイスを交付するためには、令和5年9月30日までに登録申請手続きをする必要がある。白石商工会議所が昨年11月から本年1月にかけて、市内小規模事業者を対象に実施したアンケート結果によると、54.5%の事業者が登録済みまたは登録予定と回答している。

〔質問〕市内の免税事業者がどのくらいいるのか伺う。

〔答弁〕〔商工観光課長〕免税事業者の数を把握することは非常に困難である。大河原税務署にも

確認したが、免税事業者は、法人に限らず個人の場合もあることから、その数は見当がつかないとの回答であった。

〔質問〕登録推進について伺う。

〔答弁〕〔市長〕白石商工会議所と連携し、早急の対応が必要となる可能性の高い事業者を優先的に、インボイス制度の内容やその必要性について周知していく。

〔質問〕白石市は登録するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕一般会計においては、令和4年11月18日付で、令和5年10月1日から登録されることとて通知を受けている。

また、水道事業および下水道事業においては、令和4年3月10日付で、令和5年10月1日から登録されることとて通知を受けている。

本市の森林行政について

四 竈 英 夫



〔質問〕本市では森林アンケート調査を実施したが、どのような実態と問題点があったか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕調査の結果、半分以上の森林において管理が行われておらず、半分近くの所有者が森林管理を市に委託したいとの意向であった。

〔質問〕このまま手を加えずに経過した場合、どのような状況が予測されるか。

〔答弁〕〔市民経済部長〕国土の保全や資源の涵養(かんよう)、地球温暖化の抑止などのほか、森林の荒廃が懸念される。

〔質問〕今後どのような対策が必要か。

〔答弁〕〔市民経済部長〕

森林環境譲与税を活用し、経営管理集積計画を作成する必要がある。

〔質問〕森林組合との連携も必要ではないか。

〔答弁〕〔市長〕白石蔵王森林組合と連携を図り、市町村森林管理事業による間伐などを進めたい。

◎スポーツ協会への支援について

〔質問〕白石市スポーツ協会は、スポーツの普及振興と健康増進などに寄与する活動を続けている。さらなる活動の充実を図るため、経費などの支援が必要と思われるがいかがか。

〔答弁〕〔教育長〕スポーツ振興に貢献していただいていることに感謝している。そのため協会事務局を生涯学習課が担当し、運営全般の支援を行い、各団体への補助金も支出している。団体の強化を

図るため、今後ともさまざまな支援に努めたい。

〔質問〕全国大会などへの出場経費の補助金の増額などは考えられないか。

〔答弁〕〔市長〕趣旨は理解できるが、一律に全国大会という捉え方は難しい。事前に内容を精査することも必要と考える。

◎中学校の部活動への対応について

〔質問〕中学校部活動の土日・休日を、外部指導者に委託する運動部活動推進事業を試行的に導入したが、効果を伺う。

〔答弁〕〔生涯学習課長〕高い競技経験や指導経験の豊富な人材を確保することができ、高い専門的指導を提供することで生徒の満足度が高く、一定の価値を見出ししている。

◎鶴岡市の土砂崩壊事故について

◎トルコ・シリア大地震に対する支援について
◎火災多発の注意喚起
○○○○○